



2020年3月期 第3四半期決算説明会

2020年2月5日（水）

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- ・ 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- ・ 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- ・ 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- ・ 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- ・ 通信衛星調達に関するリスク
- ・ 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- ・ 加入者獲得、維持に関するリスク
- ・ 放送事業者に関するリスク
- ・ システムに関するリスク
- ・ ICカードのセキュリティ等に関するリスク

2020年3月期

第3四半期連結決算概要

連結損益概要

■営業収益は両事業とも計画を若干下回るが、メディア事業の利益増により当期純利益は計画に対して順調に推移。

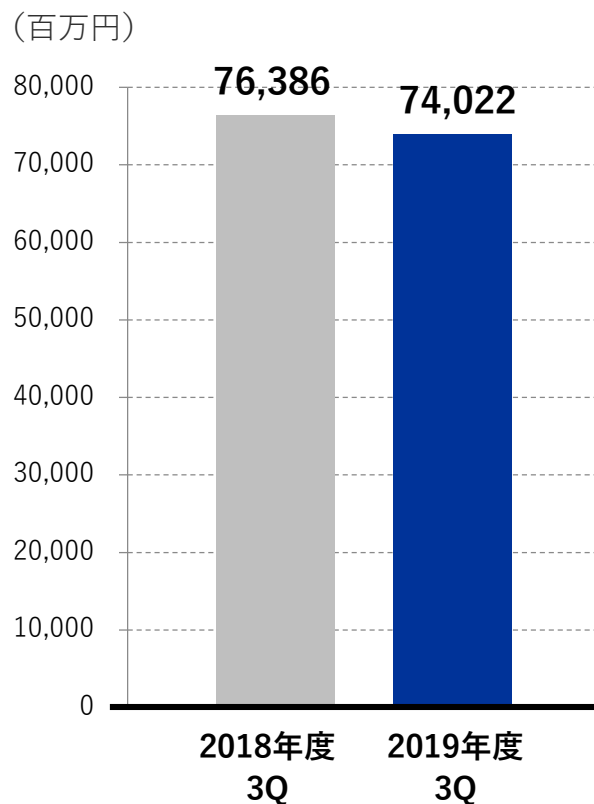
第4四半期はメディア事業営業費用増を見込むため、通期業績予想は現段階で維持。(百万円)

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	増減率	進捗率	2020年3月期 通期予想
営業収益	128,555	103,823	△19.2%	72.4%	143,500
営業利益	12,648	12,302	△2.7%	82.0%	15,000
経常利益	13,659	13,041	△4.5%	84.1%	15,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,900	8,526	△4.2%	85.3%	10,000
EBITDA *	32,239	32,597	1.1%	77.6%	42,000

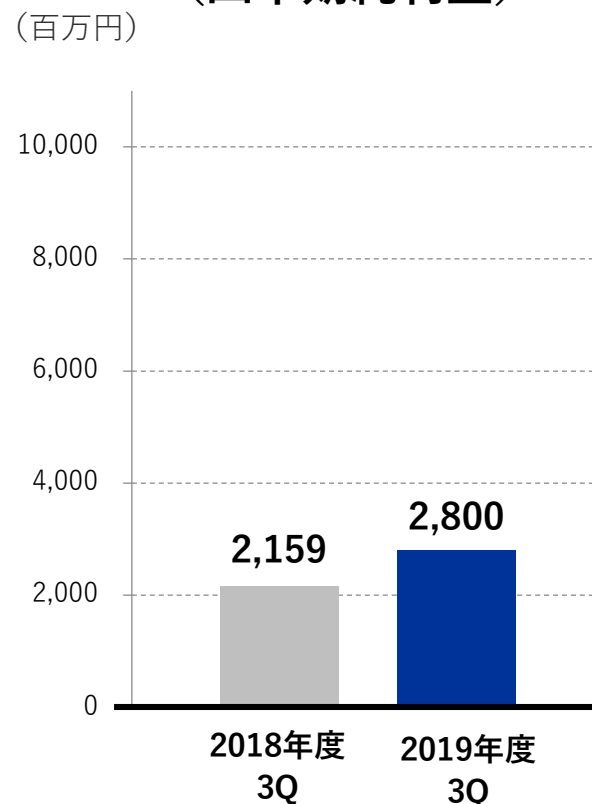
* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

■セグメント利益（四半期純利益）は28億円（前年同期比＋6.4億円）。

営業収益



セグメント利益 (四半期純利益)



セグメント利益増減要因

■営業収益（△23.7億円）＊

- ・ 光回線によるテレビ再送信サービス収入増：＋14億円
- ・ 業務手数料収入の減少：△4億円
- ・ 視聴料収入の減少：△30億円
- ・ その他収入の減少：△3億円

■営業費用（△ 33.6億円）＊

- ・ 販売促進費・キャンペーン費用の減少：△ 20億円
- ・ コンテンツ費用の減少：△ 10億円
- ・ 番組供給料の減少：△ 14億円
- ・ その他費用の減少：△8億円
- ・ 衛星回線料の増加：＋ 8億円
- ・ 減価償却費の増加：＋ 10億円

■その他

- ・ 特別利益・損失等無し



■2020年プロ野球開幕

昨年につき2020年シーズンもプロ野球セ・パ12球団公式戦を徹底中継
テレビやパソコン、スマホ、タブレットでも視聴可能



×



■福岡ソフトバンクホークス 主催全試合放送権獲得

2020年シーズン主催全試合の衛星放送 (BS・CS)および
ケーブルテレビの放送権を獲得



■総合スポーツチャンネル「スポーツライブ+」を開局(3月1日)

プロ野球、海外・国内サッカー、B.LEAGUEなどのスポーツを生中継
スカパー！に加え、一部のケーブルテレビ等でも展開

■ eスポーツ分野における取り組み

<eスポーツイベントの業務受託、放送・パブリックビューイングの取り組み>

日本最大のゲームイベント「東京ゲームショウ2019 e-SportsX」

- ① イベントステージの運営と中継映像制作・映像配信の受託
- ② ニュースクリップ映像の制作・配信の受託
- ③ アジアパブリックビューイング
- ④ BSスカパー！での一部e-Sportsステージの放送

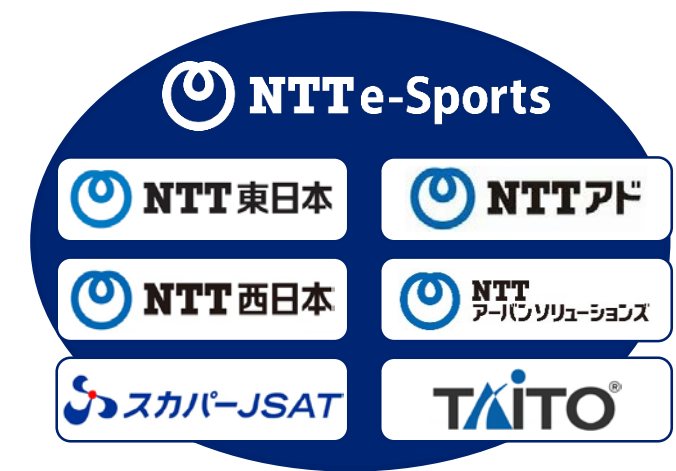


<新会社の設立>

eスポーツ分野に注力した新会社を共同出資で設立

新会社では映像配信・コンテンツ制作、海外配信、メディア連携等の取り組みを推進し市場を活性化

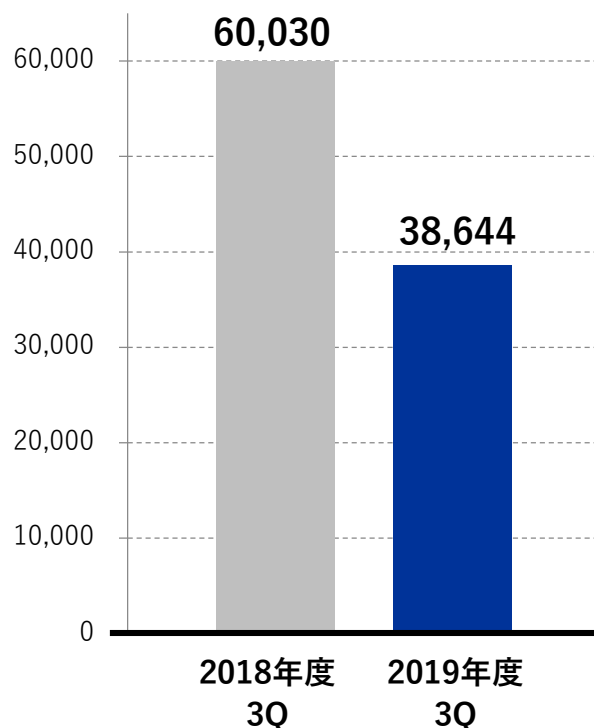
- | | |
|-----------|--|
| (1) 会社名 | : 株式会社NTT e-Sports |
| (2) 事業内容 | : eスポーツ関連設備の構築・運用等人材教育サポート、
動画コンテンツ等の配信サービスの運用、
イベントソリューション等提供自治体等と連携した地域活性化事業 |
| (3) 設立年月日 | : 2020年1月31日 |
| (4) 株主 | : 東日本電信電話株式会社、株式会社 エヌ・ティ・ティ・アド、
西日本電信電話株式会社、NTTアーバンソリューションズ株式会社、
株式会社タイトー、スカパーJSAT株式会社 |



- セグメント利益（四半期純利益）は61億円（前年同期比△9.5億円）。
- Horizons 3eにより北米子会社JSAT International Inc.の営業収益7億円増加。

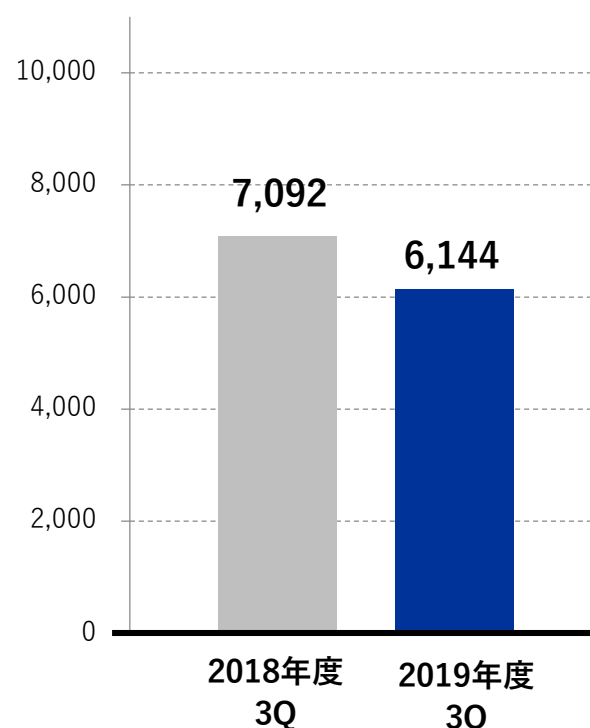
営業収益

（百万円）



セグメント利益 （四半期純利益）

（百万円）



セグメント利益増減要因

■営業収益（△213.9億円）＊

- ・北米子会社の営業収益増：＋7億円
- ・放送トランスポンダ収入の増加：＋6億円
- ・その他トランスポンダ収入の増加等：＋3億円
- ・防衛省向け通信衛星及び関連設備売却の剥落：△230億円

■営業費用（△200.5億円）＊

- ・減価償却費の減少：△2億円
- ・北米子会社の営業費用増加：＋14億円
- ・衛星事業原価の減少等：△213億円

■その他

- ・特別利益・損失等無し

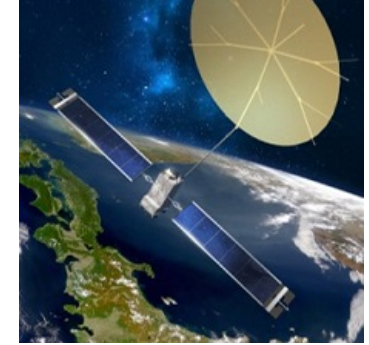
新規3衛星による2021年3月期宇宙事業営業収益は100億円を見込む
以降も旺盛なモバイル需要を背景にHorizons 3e, JCSAT-1Cにより営業収益増の見込み



Horizons 3e
(HTS:大容量通信衛星)



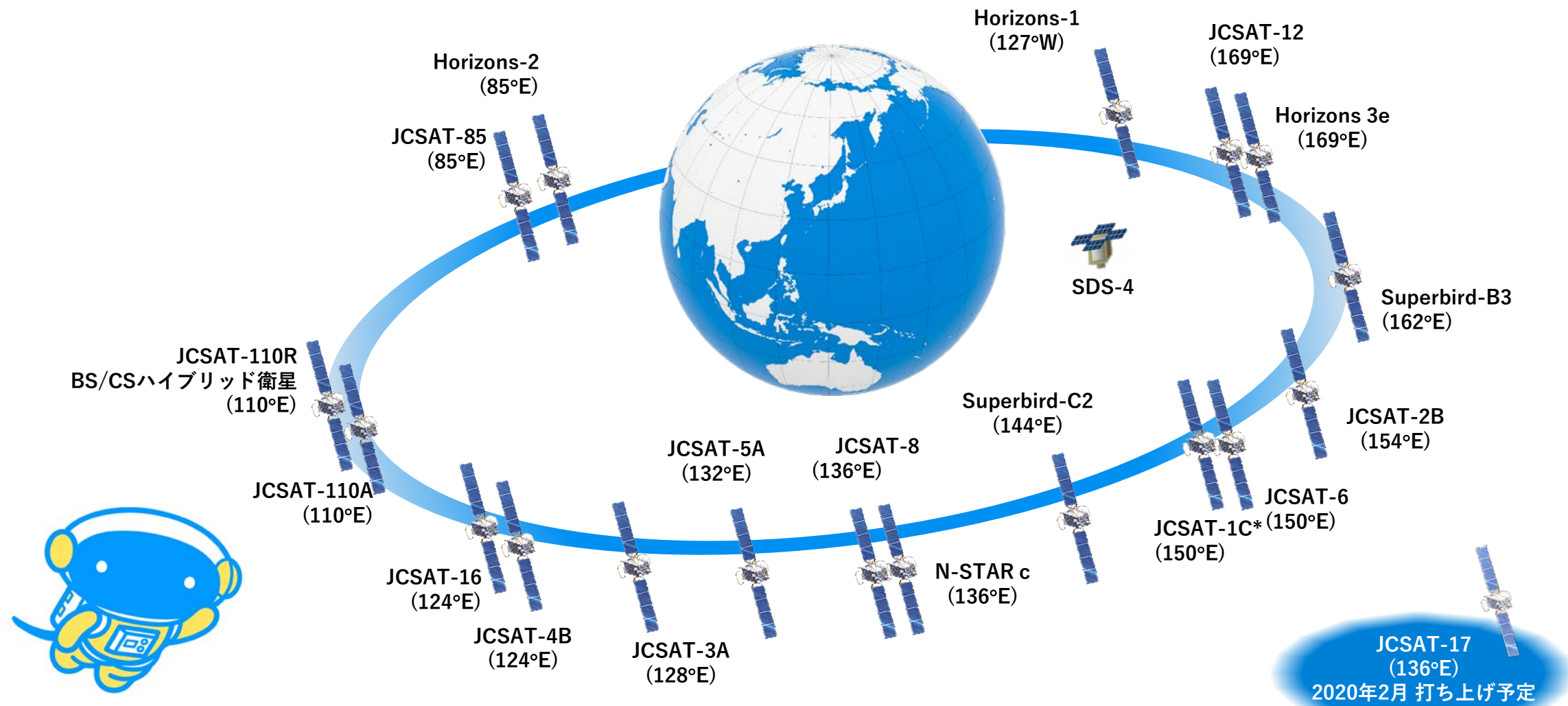
JCSAT-1C
(JCSAT-18)
(HTS:大容量通信衛星)



JCSAT-17

製造メーカー	Boeing		Lockheed Martin
ロケット	Ariane5		Ariane5
打ち上げ、 サービス開始時期	2019年1月 サービス開始	2020年1月 サービス開始	2020年2月 打上予定
軌道位置	東経169度		東経136度
目的	海外・モバイル (Intelsat社共同衛星)	海外・モバイル (Kacific社共同衛星)	国内 移動体向け通信

北米上空からインド洋上空まで 計19機 の衛星を保有 (2019年12月 JCSAT-1C打ち上げ成功、SDS-4取得)



* 150°E 軌道上のJCSAT-1Cは、2019年12月にJCSAT-18として打ち上げに成功し、軌道上でのサービス提供開始時に名称変更いたしました。

参考資料

セグメント別 連結業績の推移(2018年度1Q ~ 2019年度3Q)

対前年同四半期比較

- ・メディア事業は、視聴料収入減・テレビ再送信サービス収入増。
- ・宇宙事業は、Horizons 3eにより北米子会社営業収益増。

(百万円)

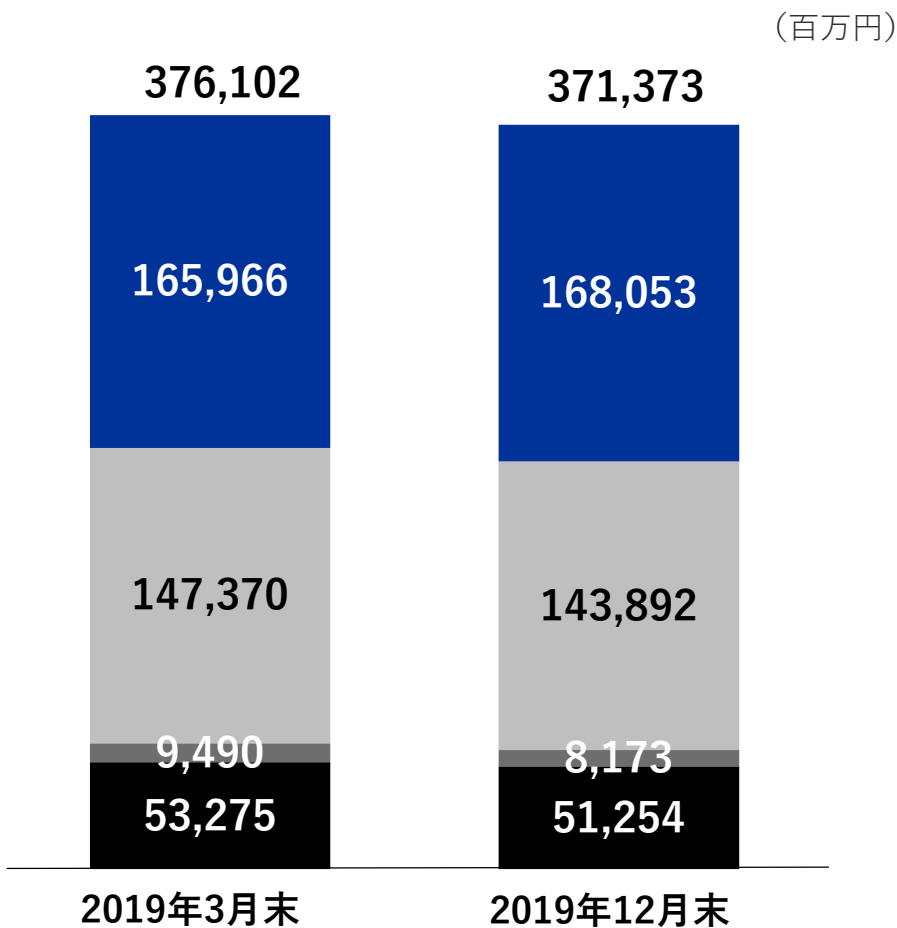
	2018年度					2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
営業収益	58,772	35,066	34,716	35,458	164,014	34,519	34,752	34,552
メディア事業	25,857	25,368	25,160	25,109	101,495	24,985	24,822	24,213
宇宙事業	35,541	12,266	12,221	13,359	73,389	12,570	12,893	13,180
消去又は全社	△2,626	△2,569	△2,665	△3,009	△10,870	△3,037	△2,963	△2,842
営業利益	4,646	4,969	3,033	2,642	15,290	3,694	4,636	3,971
メディア事業	797	2,055	19	△343	2,528	654	1,932	1,284
宇宙事業	4,034	3,082	3,170	3,142	13,430	3,225	2,875	2,855
消去又は全社	△185	△168	△156	△157	△668	△185	△171	△168

累計加入件数（ICカード数）はスカパー！全体で317.2万件（前年12月末比、3万件減）
累計契約者数はスカパー！全体で264.2万件（前年12月末比、12.7万件減）

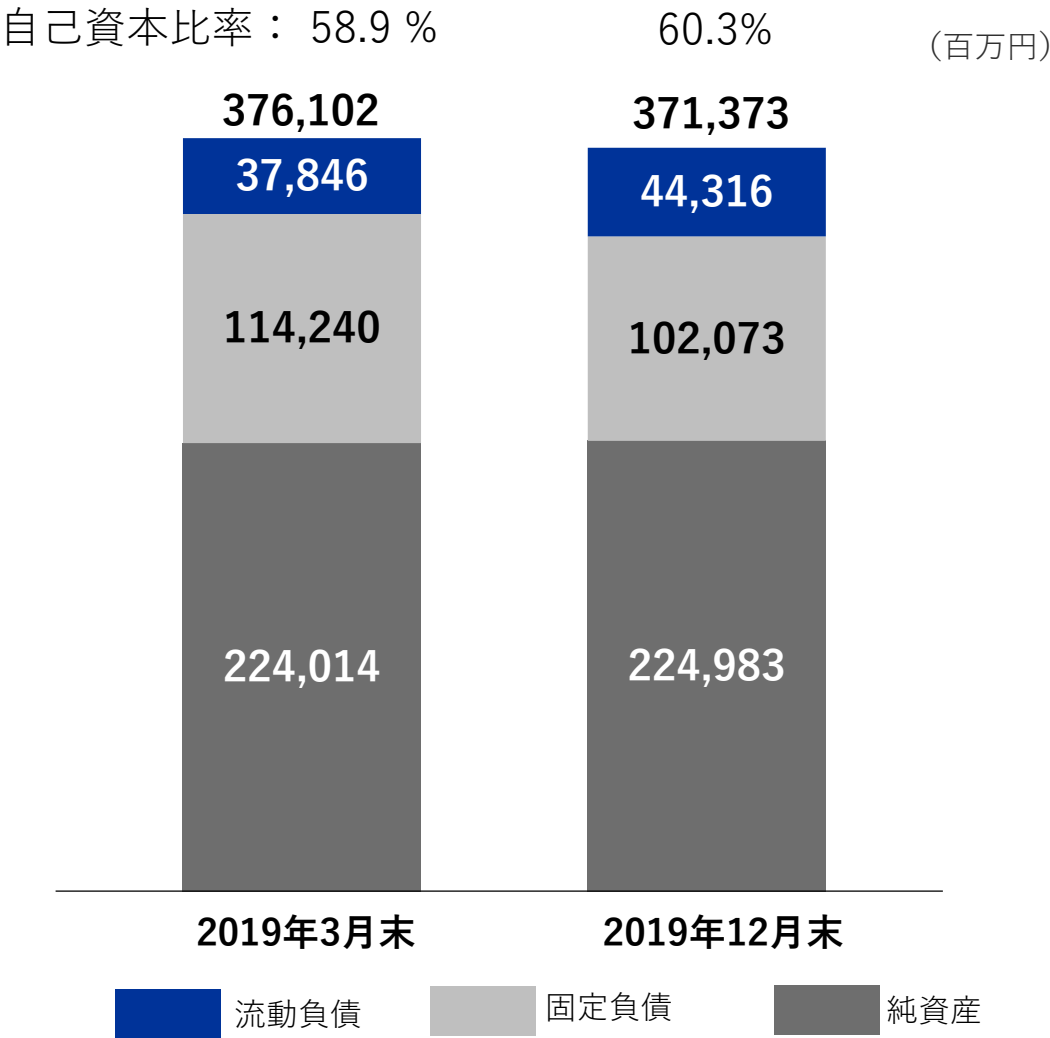
	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	2019年度 加入目標
新規+再加入件数（ICカード数 万件）	44.4	43.4	57.2
純増数（ICカード数 万件）	△6.0	△7.6	△6.6
（スカパー！）	（△0.8）	（0.0）	（3.7）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△5.3）	（△7.3）	（△9.9）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（0.0）	（△0.3）	（△0.5）
累計加入件数（ICカード数 万件）	320.3	317.2	318.1
累計契約者数（契約者数 万件）	276.9	264.2	271.3
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,286	3,264	—
スカパー！プレミアムサービス	3,711	3,657	
スカパー！プレミアムサービス光	5,265	5,254	

連結貸借対照表

資産



負債・純資産



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

流動負債 固定負債 純資産

(百万円)

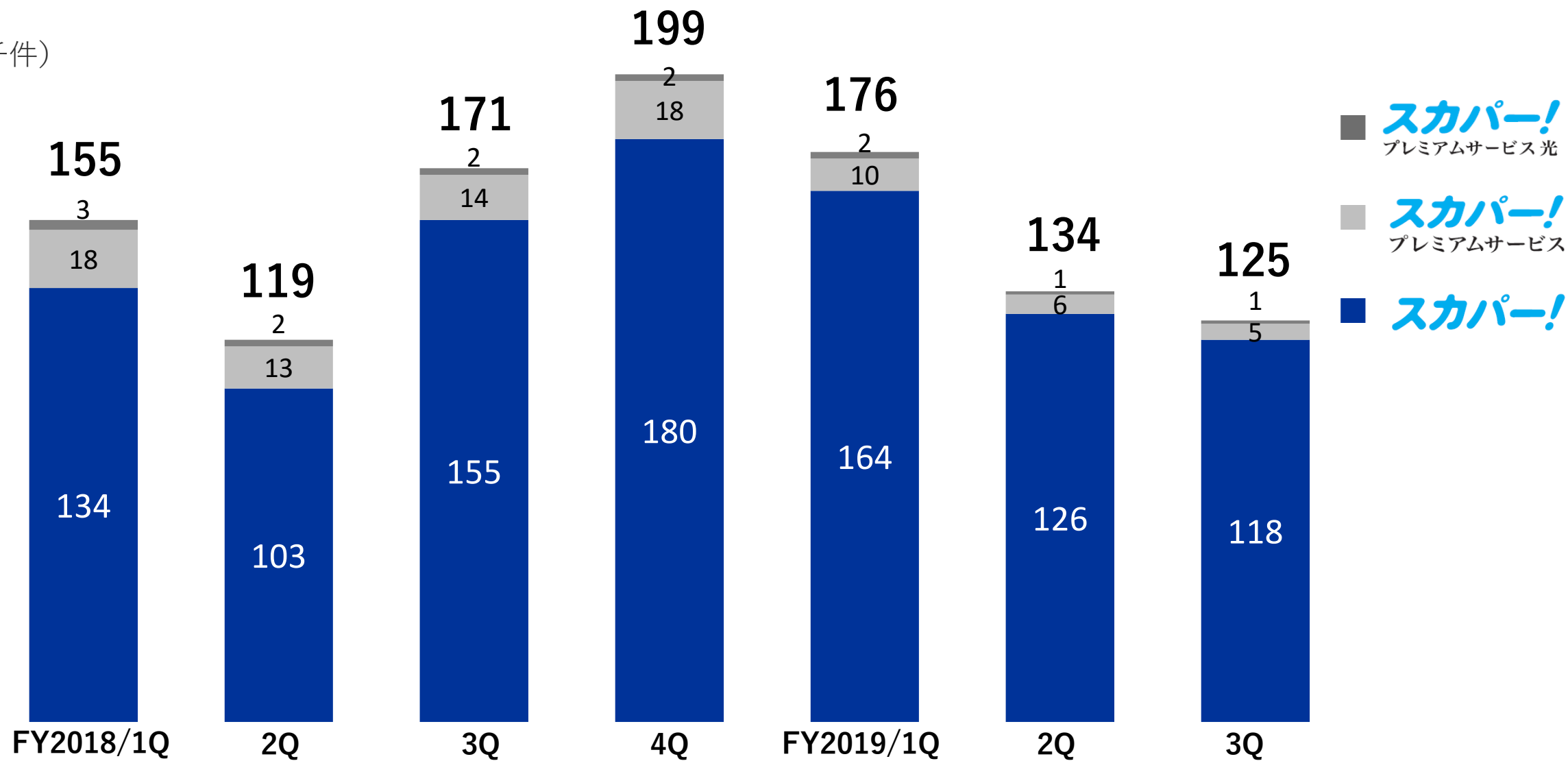
	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,146	23,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,837	△15,117
フリー・キャッシュフロー (*1)	△2,690	8,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,126	△12,442
現金及び現金同等物の期末残高(a)	52,760	44,269
有利子負債期末残高 (*2) (b)	107,991	102,542
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	55,230	58,273

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債

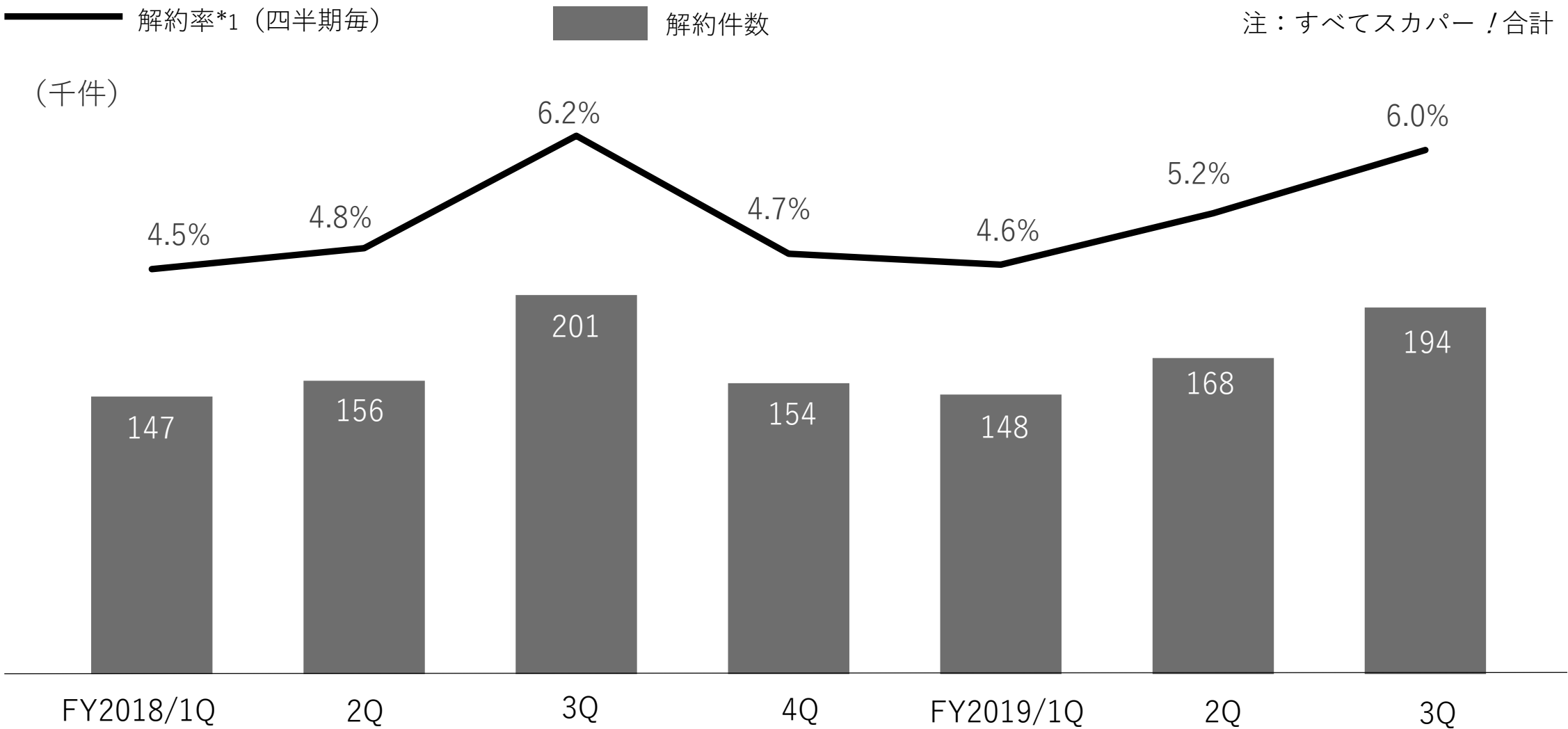
新規加入件数の推移（ICカード）

（千件）



* 従来「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し、「新規」として集計しております（2019年度第3四半期開示資料より）。

解約率の推移（ICカード）



*1 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

*2 従来「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し、「新規」として集計しているため、「再加入件数控除後の解約率」は算出しておりません。（2019年度第3四半期開示資料より）

契約者支払単価*1



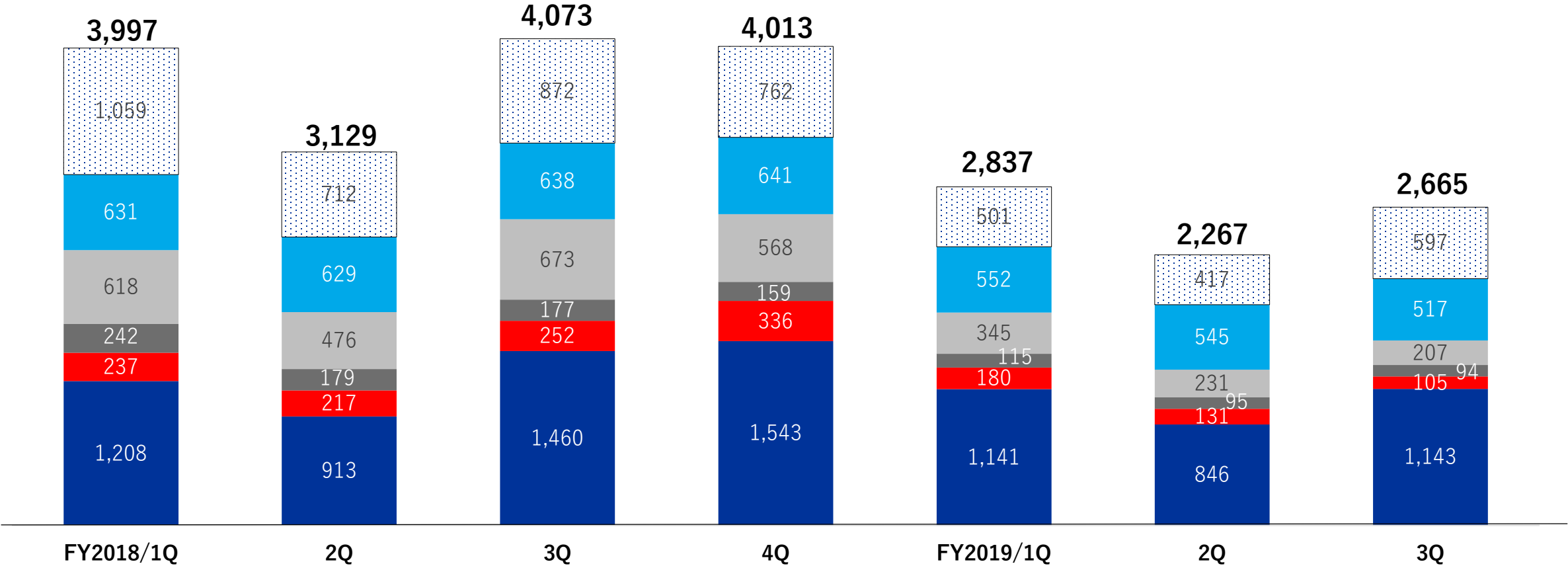
*1. 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。従来「加入者」（ICカード数）単位で開示していた月額単価を、「契約者」単位に変更しております（2019年度第1四半期開示資料より）。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料として、スカパー！プレミアムサービスでは約100%を視聴料収入として営業収益認識しております。

*2. 基本料その他 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



■ 広告宣伝費 ■ 加入促進費 ■ 販売インセンティブ ■ 加入キャンペーン費 ■ その他 ■ 無料番組制作費*

* 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用、加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)
 販売インセンティブ：家電量販店や携帯キャリアへのインセンティブおよび取次手数料
 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)、無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用
 その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ